

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	公園維持管理に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	秋元勝美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	公園サポーターとのコミュニケーションを大切に、各公園の状況などに応じた管理を行う。	③令和2年度に取組む改革・改善内容	引き続き、公園サポーターとのコミュニケーションを大切に、各公園の状況などに応じた管理を行う。
②①に基づく取組み結果	各公園の状況などに応じた管理を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市が管理する都市公園及びふれあいの森	意図(対象をどうするのか)	来園者に対し、気持ちの良い公園を提供する。
②事務事業の概要	都市公園及びふれあいの森の清掃、除草、樹木剪定、施設の管理及び維持工事等を実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市民との協働管理においては、高齢化が進んでいる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	公園サポーターとの協働により管理を行うことにより、来園者に対し気持ちの良い公園を提供することができた。						
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i	公園サポーター数	31	31	33	人	業務取得
	ii	公園サポーター管理公園数	39	39	40	箇所	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算		
事業費(千円)	149,631	209,062	金額(千円)		内容	167,107	
	国支出金(千円)		156,110		公園管理委託		
	県支出金(千円)		28,785		公園維持工事		
	市債その他(千円)						
	一般財源(千円)	149,631	209,062			167,107	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	都市公園及びふれあいの森の箇所数の増加や既存施設の老朽化に伴い、維持管理費が増加している。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	公園管理において、多くの地域住民が公園サポーターとして参加することで、公園に対する愛着と意識を高める必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H30からの繰越
		H30→R1繰越			現年分
③達成状況		補正			
④未完了・非着手の理由		流用・充当			
		令和2年度への繰越額(単位:千円)			

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	緑化推進に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	秋元勝美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	公園用地の賃貸借、ふれあいの森及び保全林等の指定により、緑の保全に努め、市民に緑とふれあえる場を提供する。	③令和2年度に取組む改革・改善内容	公園用地の賃貸借、ふれあいの森、保全林等の指定により緑の保全に努め、緑とふれあえる場を提供する。
②①に基づく取組み結果	公園用地の賃貸借、ふれあいの森の使用貸借、みどりの保全助成金の交付などを行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	都市公園、ふれあいの森等	意図(対象をどうするのか)	市民が利用できる緑地の確保、土地
②事務事業の概要	公園用地の賃貸借、ふれあいの森の使用貸借、保全林等の指定、用地取得などを行い、緑の保全と創出を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	個人所有の樹林地の適正な維持管理には相当な費用を要することから、個人で維持管理していくのが難しく、相続発生などをきっかけに宅地化する傾向にある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	①用地取得の財源として、みどりの基金に積立を行った。②緑道整備事業の用地購入費の支払いを行った。③公園用地の賃貸借を行った。④保全林、保存樹木及びふれあいの森にみどりの保全助成金の交付を行った。						
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i	市民一人当たり公園面積	2.97	2.97	3.26	m ² /人	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算		
事業費(千円)	72,207	71,240	金額(千円)	内容	21,088		
	国支出金(千円)		50,151	みどりの基金積立金			
	県支出金(千円)		10,641	用地購入費			
	市債その他(千円)	241	6,455	公園用地借上料	232		
	一般財源(千円)	72,207	70,999	3,224	みどりの保全助成金	20,856	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	保全林、ふれあいの森、借地公園について、相続発生などによる急な買い取り要望への対応が求められる。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	1低い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	緑の基本計画に掲げた緑の将来像の実現に向けて、緑の保全と緑化の推進が必要のため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	令和元年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H30からの繰越
		H30→R1繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由		流用・充当			
		令和2年度への繰越額(単位:千円)			

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	地区公園整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	〇
政策	22快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	秋元勝美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成30年度は事業がないため、令和元年度に取り組む改革・改善内容はなし。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	栗野地区公園の用地取得に向けて引き続き交渉を継続していく。
②①に基づく取り組み結果	なし。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	地区公園	意図(対象をどうするのか)	整備
②事務事業の概要	地区公園整備のため、用地取得、実施設計及び整備工事などを実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市制記念公園の未買収地の地権者から買取りを要望されている。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	市制記念公園の駐車場を舗装し、都市公園として供用開始した。				
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	算定根拠
	i 市民一人当たり公園面積	2.97	2.97	3.26	m ² /人 業務取得
	ii				
iii					
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算
事業費(千円)	0	13,763	金額(千円)	内容	0
国支出金(千円)	0	0	13,763	公園整備工事	0
県支出金(千円)	0	0			0
市債その他(千円)	0	10,300			0
一般財源(千円)	0	3,463			0

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	栗野地区公園の用地取得が完了しないため整備に着手できない。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	緑の将来像の実現に向けて、市民一人当たり公園面積の目標水準を目指し、整備を進めていく必要があるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	工事	令和元年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	工事実施	16,236	16,236	当初	16,236	H30からの繰越	0
				H30→R1繰越	0		
③達成状況	完了			補正	0	現年分	13,763
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0		
		令和2年度への繰越額(単位:千円)				0	

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	街区公園整備事業	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	8	4	5	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	秋元勝美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	平成30年度から繰越した東道野辺ふれあいの森公園整備工事を完了させる。丸山三丁目ふれあいの森の用地先行取得、鎌ヶ谷一丁目ふれあいの森の用地買戻しを実施する。	③令和2年度に取組む改革・改善内容	鎌ヶ谷一丁目、丸山三丁目ふれあいの森の用地買戻し、旧第一学校給食センター跡地の公園整備等を実施する。
②①に基づく取組み結果	東道野辺ふれあいの森公園整備工事が完了し、丸山三丁目ふれあいの森の用地先行取得、鎌ヶ谷一丁目ふれあいの森の用地買戻しを実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	街区公園	意図(対象をどうするのか)	整備
②事務事業の概要	街区公園整備のための用地取得、実施設計及び整備工事などを実施する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	社会資本整備総合交付金において、令和元年度まで活用してきた吸収源対策公園緑地事業が突然廃止され、令和2年度から交付対象を拡充したグリーンインフラ活用型都市構築支援事業が創設された。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	東道野辺ふれあいの森公園の整備が完了し、都市公園として供用開始。				
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	算定根拠
	i 市民一人当たり公園面積	2.97	2.97	3.26	m ² /人 業務取得
	ii 東道野辺ふれあい森公園整備工事		38	100	% 業務取得
	iii 鎌ヶ谷一丁目ふれあい森用地取得率		6	40	% 業務取得
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算
事業費(千円)	92,490	216,142	金額(千円)	内容	173,949
国支出金(千円)	17,600	61,400	142,328	用地購入費	50,000
県支出金(千円)		200	38,081	公園整備工事	0
市債その他(千円)	60,900	117,500	26,100	公社預託金	107,200
一般財源(千円)	13,990	37,042	5,176	設計委託	16,749

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	用地先行取得の買戻しには期限があり、財源となる国費の確保が課題。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	緑の将来像の実現に向けて、市民一人当たり公園面積の目標水準を目指し、整備を進めていく必要があるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	用地取得、実施設計、工事	令和元年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	用地取得、実施設計、工事	196,226	229,696	当初	196,226	216,142	H30からの繰越	37,442
				H30⇒R1繰越	37,442			
③達成状況	完了			補正	0		現年分	178,700
④未完了・非着手の理由				流用・充当	-3,972			
				令和2年度への繰越額(単位:千円)			0	

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	公園施設長寿命化事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	〇
政策	22快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	秋元勝美			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	長寿命化計画を基に維持管理を実施	③令和2年度に取組む改革・改善内容	引き続き、長寿命化計画に基づき、維持管理を実施する。
②①に基づく取組み結果	長寿命化計画を基に維持管理を実施した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	鎌ヶ谷市内の公園施設	意図(対象をどうするのか)	既存施設の長寿命化対策及び安全対策の強化を進める。
②事務事業の概要	公園施設の長寿命化計画に伴い、計画的な維持管理を行うことにより、安全の確保と、維持管理予算の平準化を図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	公園施設の老朽化が急速に進む中で、計画的な維持管理に取り組むことが急務となっている。誰もが安心して利用できる都市公園が望まれる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	長寿命化計画に基づき、市制記念公園においてトイレを更新した。						
②成果を表す指標	指標名称		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i	対象公園数	176	176	176	箇所	業務取得
	ii	長寿命化対策計画対象施設数	14.3	16.2	20.2	%	業務取得
	iii						
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算		
事業費(千円)	11,328	29,957	金額(千円)		内容	35,510	
国支出金(千円)	5,000		29,955		公園施設整備工事	11,900	
県支出金(千円)							
市債その他(千円)	5,000	25,900				21,400	
一般財源(千円)	1,328	4,057				2,210	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の老朽化が進む中で、計画的に事業を進めるため、修繕費や更新費の平準化を図っていく。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	7拡充
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	安心・安全な公園を目指し、公園施設の老朽化に対応した更新を実施していく必要があるため。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	施設の更新	令和元年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	公園施設長寿命化整備	69,420	74,933	当初	69,420	29,957	H30からの繰越	0
				H30→R1繰越	0			
③達成状況	完了			補正	10,000		現年分	29,957
④未完了・非着手の理由				流用・充当	-4,487			
							令和2年度への繰越額(単位:千円)	0

令和2年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	桜×鎌ヶ谷＝魅力アップ事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	4	5	○
政策	22快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	公園緑地課			
施策	222快適な公園・緑地環境の整備	担当課室長	秋元勝美			

I 改革・改善内容(＝事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	市制記念公園及び新鎌ヶ谷三丁目第一公園に7本植樹する。	③令和2年度に取り組む改革・改善内容	市制記念公園及び新鎌ヶ谷四丁目公園等に6本植樹する。
②①に基づく取り組み結果	市制記念公園及び新鎌ヶ谷三丁目第一公園に7本植樹した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	新鎌ヶ谷地区から市制記念公園周辺の「桜ゾーン」	意図(対象をどうするのか)	賑わいの創出による市の魅力アップ
②事務事業の概要	新鎌ヶ谷地区から市制記念公園周辺の「桜ゾーン」に、里親制度により桜を植樹して、人を誘導し、回遊性を生み出すことで賑わいを創出し、市の魅力アップを図る。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	74本の植樹を計画していたが、具体的に植樹可能箇所を調査した結果、59本の植樹を行う計画に変更となった。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度の事業の成果	桜の里親制度による桜の植樹					
②成果を表す指標	指標名称	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	算定根拠
	i 植樹本数	38	46	53	本	業務取得
	ii					
	iii					
③事務事業のコスト	平成30年度決算	令和元年度決算	令和元年度決算(事業費)の主な内訳		令和2年度予算	
事業費(千円)	910	2,071	金額(千円)	内容	2,454	
	国支出金(千円)		2,035	桜の植樹工事	0	
	県支出金(千円)				0	
	市債その他(千円)	160	140		120	
	一般財源(千円)	750	1,931		2,334	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	歩車道や地下埋設物への影響から将来の桜の成長に見合う植樹場所の確保が難しい。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	2普通	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	2普通	
③上記評価の理由	桜×鎌ヶ谷＝魅力アップ事業実施計画に基づき、引き続き桜の植樹を行うことで、市の魅力アップを図っていくため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①令和元年度の計画	植樹工事	令和元年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	桜の植樹7本実施	2,194	2,194	当初	2,194	H30からの繰越	0
				H30→R1繰越	0		
③達成状況	完了			補正	0	現年分	2,071
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0		
令和2年度への繰越額(単位:千円)							0